

公 益 社 団 法 人

福岡県作業療法協会会報

第131号 平成30年 4月15日発行

(事務局)

〒802-0044 北九州市小倉北区熊本1丁目9-1 ONE OFF第2ビル101号

T E L 093-952-7587 発行責任者 志井田 太一 編集責任者 許山 勝弘

ホームページアドレス：<http://www.fuku-ot.org/>



特集：福津市における自立支援型地域ケア会議の取り組みについて

目次

巻頭言：「我が事・丸ごと」 公益社団法人福岡県作業療法協会 会長 志井田 太一	・・・ 1
会長行動：	・・・ 1
特集：「福津市における自立支援型地域ケア会議の取り組みについて」 コールメディカルクリニック福岡 坂口 聡子	・・・ 2
第5回理事会議事録：	・・・ 6
定期社員総会議事録：	・・・ 9
各部・委員会からのお知らせ：	・・・ 11
「作業療法フェスタ2017～WE CAN 障がいがあっても元気になる～」 公益社団法人福岡県作業療法協会 事業部理事 永田 敬生	・・・ 15
公益社団法人福岡県作業療法協会 協会表彰・功労表彰	・・・ 17
Occupation： 医療法人社団 久英会 高良台リハビリテーション病院 山下 恭平	・・・ 19
リレーエッセイ： 特定医療法人東筑会 東筑病院 太田 裕司	・・・ 20
会員動向調査：	・・・ 22



我が国は、少子高齢化において世界の最先端を走っており、これに少し遅れて少子高齢化が進むことが予想されている全世界が、我が国の対応に注目しています。このような状況の下、日本は、「我が事・丸ごと地域共生社会の実現」を目指し取り組みが始まっています。これについては、濱本副会長が、福岡県作業療法協会会報129号の巻頭言で詳しく解説されていますので、詳しく知りたい方はバックナンバーをお読みください。

これは、国民が「年齢」や「障害の有無」、「職業の分野」を越えて、お互いを支え合うために活躍（一億総活躍）できる社会を創設しようというものです。保健・医療・福祉・介護の領域では、「地域包括ケアシステム」や「在宅医療・介護連携の推進」が示され、自助・互助を中心に地域住民が主体となって、生活全般を支え合う「まちづくり」までが盛り込まれています。

これらの根幹には、「健康寿命の延伸」、「仕事の多様性の創出」とそれによる「働き手の創出」にあると感じ、今後、多職種および異業種の間で、地域を意識した緊密な連携の下、住民主体でこれらを推進する必要があります。

どのようにすれば、地域の住民一人ひとりが「本人・家族の選択と心構え」をもち、「住民の責務と行動」へと繋がるのか？

私たち専門職は、専門の知識と技術を駆使して、地域住民や行政職との話し合いを重ね、共同で計画を立案し、協働で実践を重ねながら実績と結果を積み重ね、前を向いて進むことを求められています。

住民一人ひとりが、この国の現状と行方を理解し、覚悟をもって進まなければこの国を維持することが困難であることを理解し、住みやすい国として生活が続けられるには何をすべきかを考え行動しなければならない時が、すぐそこまで来ました。

国民のそして地域住民のひとりとして、私に何ができるのか、何が生きがいにつながるのか、悩みかつ愉しみながら日々を過ごして行こうと考えます。

会長行動 （平成30年1月～3月）

1. 15. 北九州市医療・介護の多職種・多機関連携の今後の進め方：説明会 出席
場所：公益社団法人 福岡県作業療法協会 事務所
1. 27. 日本作業療法士協会 地域包括ケアシステム推進委員会 出席
1. 27. 平成29年度第3回 日本作業療法士協会47都道府県委員会 出席
28. 場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター
1. 30. 北九州市すこやか住宅推進協議会 建築・福祉新春情報交換会交流会 出席
場所：小倉リーセントホテル
31. 第1回九州作業療法学会 第3回準備委員会 出席
場所：麻生リハビリテーション大学校
2. 11. 平成29年度九州作業療法士会会長会主催リーダー研修会・懇親会 参加
12. 平成29年度第3回九州作業療法士会会長会 出席
場所：医療福祉専門学校 緑生館
2. 18. 第22回福岡県作業療法学会 参加
平成30年度予算社員総会 出席
場所：福岡県立大学
2. 19. 平成29年度第6回福岡県作業療法協会理事会 出席
場所：らそうむスポーツガーデン
21. 第1回九州作業療法学会 第4回準備委員会 出席
場所：麻生リハビリテーション大学校
2. 22. 第12回日本訪問リハビリテーション協会学術大会 第8回全体会議 出席
場所：(株)シダー本社
2. 24. 全国地域作業療法研究大会 第23回学術集会 参加
場所：北九州国際会議場
2. 25. 平成29年度 福岡県PT・OT・ST士会主催 訪問リハビリテーション研修会 参加
場所：小倉リハビリテーション学院
3. 21. 公益社団法人 福岡県介護福祉士会 設立25周年記念式典、講演会、祝賀会 出席
場所：ソラリア西鉄ホテル

はじめに

現在、保険者である市区町村や都道府県は、地域特性に応じた「地域包括ケアシステム」の構築を推進している。多職種による自立支援型地域ケア会議は、高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備とを同時に進めていく、地域包括ケアシステムを作り上げていくための一つのツールである。

福岡県は大分県杵築市の地域包括ケアシステムを参考にしており、そのうち福津市は、県の地域ケア会議推進支援事業のモデル市町としてH27年度より自立支援型地域ケア会議に取り組んできた。筆者は、その準備期より携わる機会を得て現在も出務させて頂いている。そこで僭越ながら、地域ケア会議の背景や目的、OTの求められていることや課題について報告する。

地域包括ケアシステムと地域ケア会議の位置づけ

そもそも、地域包括ケアシステムとは、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで継続できるようにするために、介護・医療・生活支援・介護予防・住まいが一体的に提供されるものであり、その具体的内容は地域特性によって異なってくると言われている。また、このシステムは「自助（自分のことは自分です）」「互助（地域住民が助け合う）」「共助（介護保険や医療保険のような制度化され

た相互扶助）」「公助（生活保護などの生活保障を行う社会福祉）」によって形成されているが、そのバランスは必ずしも均一ではない。少子高齢化や財政状況などの背景により、「自助」「互助」に重きがおかれ「共助」「公助」が縮小する公費抑制システムとしての側面も持ち合わせている。

その中で、「自立支援型地域ケア会議」は専門多職種協働による自立支援に資するケアマネジメントを支援することにより、介護保険法の理念に基づいた高齢者の自立支援及び生活の質（QOL）の向上を目指すための会議として位置づけられている。そこでは、いかにして実効性のある効果的なケアプランにするかについて調整することを目標としている。

地域ケア会議の5つの機能

「地域ケア会議」には、（筆者が参加している）個別ケースの検討と、地域課題の検討の二つがあり、①個別課題解決機能、②ネットワーク構築機能、③地域課題発見機能、④地域づくり・資源開発機能、⑤政策形成機能の5つの機能を有している（図1）。地域包括支援センターで開催される個別ケースの自立支援型地域会議では、①個別課題解決機能を高めることで、対象となる高齢者の課題解決を支援できるという他、そのようなプロセスを経て、包括職員や介護支援専門員など

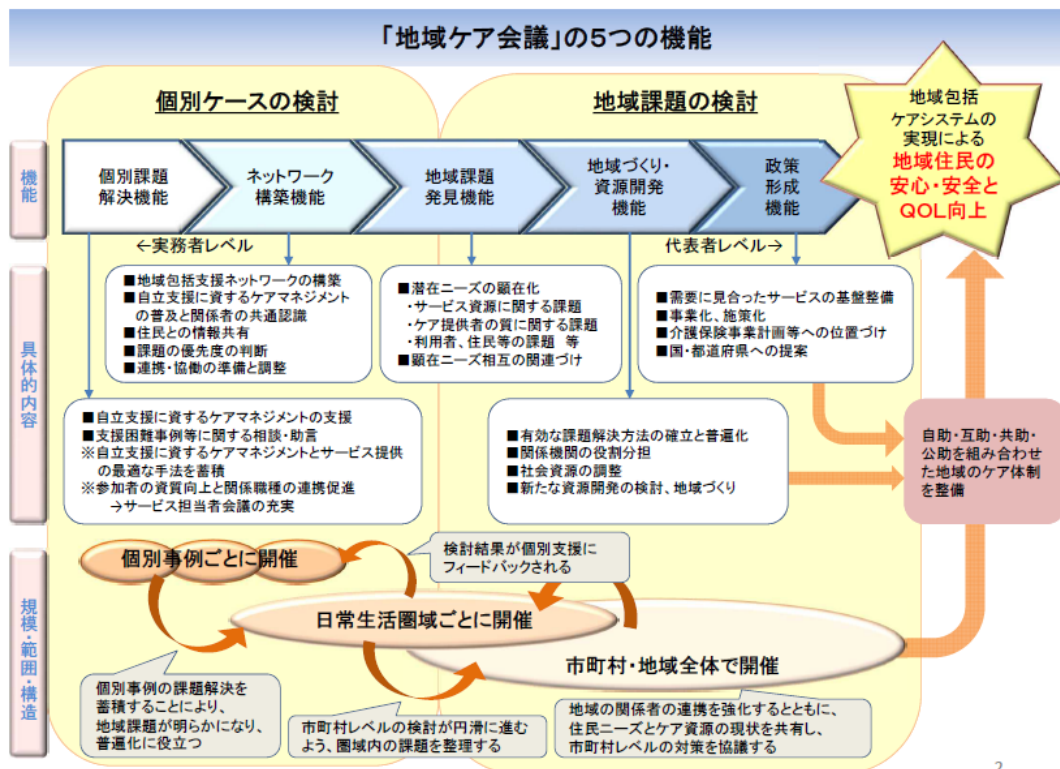


図1

の課題解決力向上をはかることで自立支援に資するケアマネジメントなどの支援の質を高めるという意味合いがある。また、会議を通じて、ネットワークの構築が必要だと考えられる機関や人々、および不足している社会資源などが明らかになり、②ネットワーク構築機能が高まることが期待される。さらに、個別ケースの背後に同様のニーズを抱えた要支援者などを見出すことで解決すべき地域課題が見つかるなど③地域課題発見機能もある。③については、発見された課題に対して、どのような解決策が可能か検討するプロセスの中で、関係機関の必要な取り組みや役割などが明らかにされることもある。こうして個別ケースの積み重ねにより、③地域課題発見や④地域づくり・資源開発、⑤政策形成へと集約されることから、個別支援のみならず地域への一体的支援としての役割も担っている（図2）。

福津市の概要

福津市は、平成17年に旧福岡町と旧津屋崎町の合併により誕生した自治体である。また、福岡市と北九州市の間に位置し、宗像市、宮若市、古賀市に隣接している。人口はおよそ6.3万人で、①宮地嶽神社や津屋崎・福岡海岸などを中心とした観光地、②福岡・北九州両政令市への通勤・通学の利便性を背景とした住宅地域、③新鮮な食料品の生産供給地域といった特色を有している。平成29年2月現在の高齢化率は28.0%で、地域包括支援センターは委託された1か所の配置となっている。

福津市の地域ケア会議の取り組み

福津市では、先述の地域ケア会議5つの機能に対し、話し合う内容やメンバーに応じて①自立支援型地域ケア会議、②地域ケア個別会議、③地域包括ケアシステム会議、④地域ケア推進会議（仮称）、⑤保健福祉審議会の5つの地域ケア会議が設けられている（図3）。この中には未実施な会議もあるが、政策形成に至る流れの中でこれらを一体的に進めていくような枠組みとなっている。筆者が関与しているのは、その内の一つである①自立支援型地域ケア会議である。

自立支援型地域ケア会議を開催するにあたり、会議実施前段階～準備期～としてH26年度は模擬地域ケア会議・研修開催し、H27年度上半期は杵築市への視察や自立支援型地域ケア会議マニュアル（福津市版）を作成（図4）、下半期は6回の地域ケア会議を試行した。この時期、リハビリ助言者は筆者とPT、STの3名に加え、歯科衛生士、栄養士の5名の固定メンバーであった。H28年度より本格的に地域ケア会議が始まってからは、リハビリ職はPT・OT・STそれぞれ2名ずつ6名に増えた。また、固定メンバーであった歯科衛生士（1名）、栄養士（1名）に加え、新たに保健師、薬剤師も助言者に加わった。H29年度には、隔週であった開催頻度が毎週になったことで、セラピストの負担も増えたことから交互に参加するようになった（図5、6）。

対象となるケースは、①要支援の予防給付プランのうち、初めて予防給付を利用する、②総合事業対象者で初めて同事業を利用する場合がほとんどであったが、H29年度からは要介護1、要支援

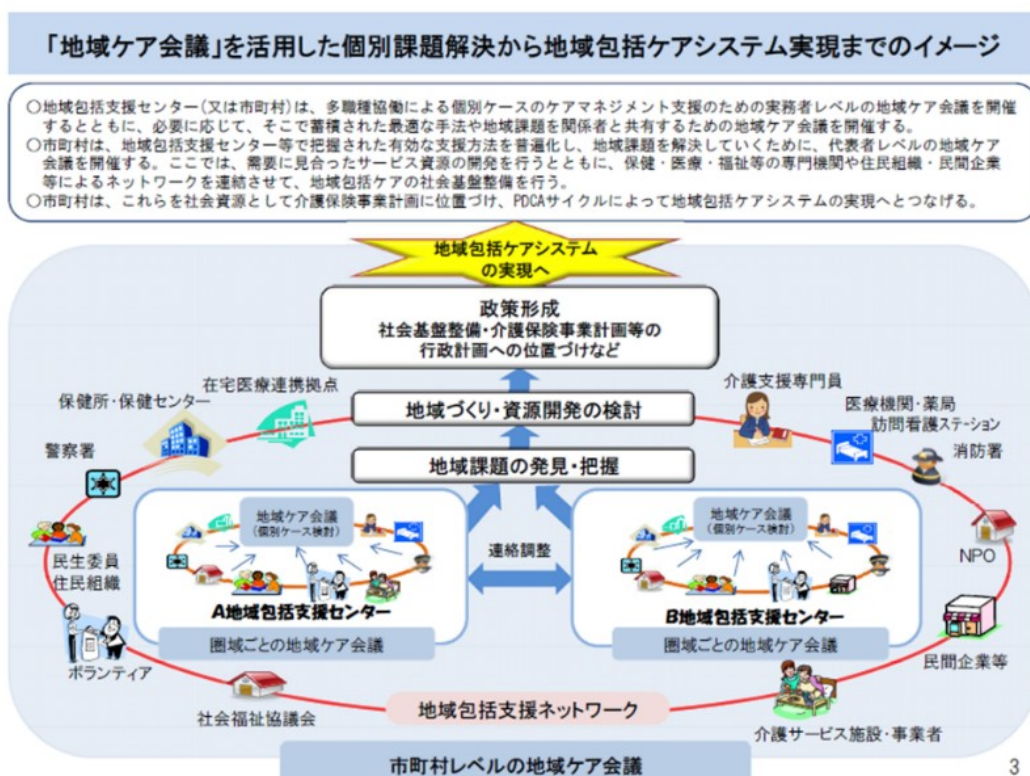
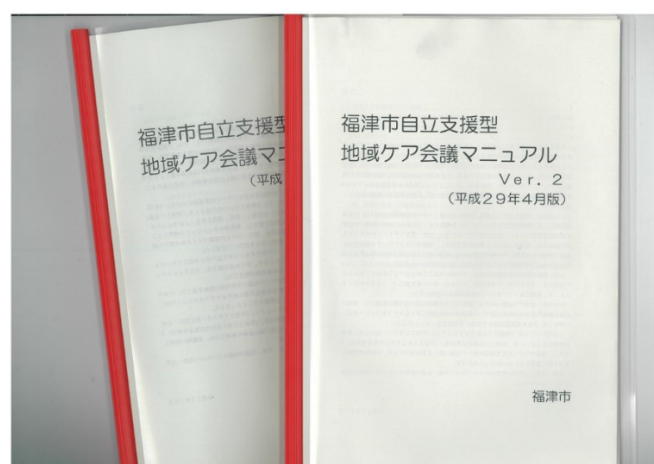


図2

1・2の利用者で住宅改修（申請額5万円以上）または福祉用具販売（利用予定額5万円以上）を利用するケースも加わった。

福津市の地域ケア会議一覧			
会議名	主催	メンバー	内容
自立支援型地域ケア会議	市・センター	市職員、センター職員 専門職（作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・管理栄養士・歯科衛生士・薬剤師・保健師） ケアマネジメント担当者 サービス担当者	自立支援に資するケアマネジメントの支援
地域ケア個別会議	センター	センター職員 個別ケースに合わせて関係機関	支援困難事例等に関する課題の解決に向けた相談・助言
地域包括ケアシステム会議	市・センター	市職員 センター職員	自立支援型地域ケア会議や地域ケア個別会議などさまざまな業務の中から見えてくる課題を明確化して、共有し、解決に向けての検討
地域ケア推進会議（仮称）	市	市職員 関係機関	浮き彫りになってきた地域課題を地域づくりや市の施策等にどのように反映させていくかを検討
保健福祉審議会	市の附属機関	審議会委員 事務局（市職員）	課題解決に必要な資源開発や解決策の施策化、介護保険事業計画への反映などの政策形成につなぐための会議

(図3)



(図4)

	開催頻度	件数	検討時間	開催メンバー
H28年度	隔週1回	原則4件(最大5件)	25分程度	PT・OT同時参加、保健師、薬剤師、ST・歯科衛生士同時参加
H29年度	毎週1回	原則4件(最大5件)	25分程度	PT・OT交互参加、保健師、薬剤師、ST・歯科衛生士交互参加

(図5)

出席状況	OT	PT	ST	計(回数)
H27年度	6	6	5	17
H28年度	22	23	23	68
H29年度 (H30.2月現在)	20	21	21	62
計(回数)	48	50	49	147

(図6)

地域ケア会議当日の流れ

資料の読み込みは約5分だが、福津市では会議開始1時間前からその日の全ケースの資料を読み込むことが可能である。資料は事例分準備されているが、福津市では予めA4一枚にその日の全ケースの概要が簡単にまとめられており、枠組みをつけやすくなっている。

読み込み後は、ケアマネジメント者から現在の

状態、現在の状態に至った経緯、アセスメント結果などの説明とサービス提供事業者からの提供サービスの説明がなされる。それを踏まえて司会者（コーディネーター）が課題を整理・焦点化し、総合的な課題とその根拠（アセスメント、自立を阻害する要因）、改善していくための目標設定、サービス内容が適切か助言者などに確認していく。参加者は、資料から把握できなかった内容や自立支援の観点から確認しておきたいことなど助言につながる質問をする。そして、このプランが妥当か否か、改善点があるなら生活機能に対する予後予測をふまえ、どの課題にどのようなサポートがあれば自立につながるのかを提案していく。

以上の流れを25分程度で行っていくため、課題を絞ってテンポよく進めていくことが求められている（図7、8）。

会議当日の流れ		
項目	目安時間	ポイント
①資料の読み込み	約5分	- 司会者はポイントを絞って資料に目を通し、おおよその状態像をイメージする - 参加者・助言者は自らの専門分野を中心に確認する
②ケアマネジメント（予定）者からの概要説明	約3分	- 現在の状態（生活機能の低下）に至った個人因子・環境因子を簡潔に説明（自立を阻害している背景を洞察する） - 課題整理統括表の結果、改善可能な機能やポイントを説明 - 現在の状態に至った経緯、利用者の総合的な課題と判断した根拠を説明 ※居宅介護支援事業所へ委託されているケースについては、直接担当する介護支援専門員とセンターの担当職員が行う
③サービス提供事業者からの提供サービスの概要説明	約3分	サービス提供（予定）事業所から、提供（予定）サービス計画・内容について説明
④コーディネーターからの課題の焦点化	約4分	- 総合的な課題とその根拠が適切に導かれているか全参加者に確認する - 総合的な課題とその根拠が適切でなければ、アセスメント・阻害要因に対する助言へ移行
	約4分	総合的な課題とその根拠が適切であれば、目標・サービス内容に対する助言へ移行
⑤全参加者からの質問・意見	約4分	事例検討ではなく、ケース調整で「いかに実行性のあるケアプラン、サービス計画にするか」を意識する ※質問や意見は要点を絞って簡潔に行う
⑤まとめ	約2分	- 予後予測の確認 - どの課題に、どのようなサポートがあれば自立につながるかに焦点を絞り、意見をまとめ、ケアマネジメント担当者やサービス提供事業者が当面行う必要がある課題を確認する

（参考：月刊ケアマネジメント2012.8月号地域ケア会議における司会進行の流れ一部改題）

(図7 図4より抜粋)



(図8 実際の様子)

OTに求められる役割

福津市のマニュアルには図9のように示している。また、日本作業療法士協会では、OTが協力できる内容として「ADL・IADLなど生活行為を向上させるためのアセスメントと予後予測、方法について助言・指導」と掲げている。

会議では、自立支援に資する助言が求められる。そこで、基本情報に目を通したら、ケアマネジメント者がどのように生活機能を評価し、生活課題を踏まえた目標を立てプランに落とし込んでいるかを確認する。と同時に、自分なりに対象者の疾患特性や生活機能の予後予測からADL・IADLの「できる・できない」を整理し、自立を阻害する要因がどこにあるのか見極めていく。

また、本人がどういう生活を行っていききたいのか全体のマネジメントの視点をもって課題に優先順位をつけていくことが必要である。できない部分に対しては、改善の可能性があるのか、なければ誰にどこまで協力してもらうのか、環境調整で補完できるのか、道具の工夫で代償できるのかなどを具体的に示していく。

但し、会議全体の中で注意していただきたいことがある。この会議は多職種の専門職が多角的視点から検討を行うことで自立支援に資するケアマネジメントの支援を目指している。そのため、他の助言者の時間を奪わないよう気を付ける必要がある。また、短期間に情報収集・アセスメントを行っているケアマネジメント者にも敬意をはらうなど、OTだけでなく、その場に参加している全ての人が対象者の生活をよりよくするための集まっているということを忘れてはならない。

(4) 助言者に期待すること(役割)

- ・自らの専門性のもとに、自立を阻害する要因がどこにあるかを明確にする。
- ・予後予測をふまえた助言を行う。
- ・まとをしぼって、箇条的に発言する。

職種	専門職としての視点など
理学療法士 作業療法士	① 医療機関に確認すべき事項の有無と内容の確認 ② 廃用症候群の予防・改善のために必要な助言 ③ 転倒リスクの見極めと改善策への提案 ④ 運動、機能訓練の具体的内容およびリスクに関する助言 ⑤ 生活機能を向上させるために環境改善へ向けた視点 ※1 理学療法士は、主に生活上の動作 ※2 作業療法士は、主に生活上の応用動作および精神・認知機能障害等
言語聴覚士	① 言語障害(失語症・構音障害など)に有効なコミュニケーション方法についての助言 ② 聴覚障害(疑)のスグリーニングおよび日常生活における対応方法についての助言 ③ 認知症や高次脳機能障害への対応方法についての助言 ④ 誤嚥性肺炎の予防についての助言 ⑤ 摂食・咀嚼・嚥下機能障害への対応方法についての助言
歯科衛生士	① 介護予防の視点からの口の働きを維持するための助言 ② 口腔ケアの必要性と方法 ③ 誤嚥性肺炎の予防についての助言 ④ 摂食・咀嚼・嚥下機能障害への対応方法についての助言
管理栄養士	① 生活習慣病予防および悪化防止の観点からの助言 ② 食事の仕方、調理の仕方、素材の選択の仕方がわかる助言 ③ 栄養改善指導が必要なケースかどうかのスクリーニング
薬剤師	① 疾患の主な症状と留意点に関する助言 ② 服薬管理の方法 ③ 主治医への相談が必要なケースのスクリーニング

(図9 図4より抜粋)

会議に参加して

筆者は、介護予防などの軽度要介護・要支援者への関わりは多くないため、地域ケア会議に参加し始めたころは、適切な助言ができていないのかとても不安だった。また、制度の理解、地域の特性、自分の立ち位置や求められている役割を把握できず不甲斐なかった。しかし、回を重ねる中で地域がOTに期待を寄せていることを実感し、拙い中でもできるだけそれに応えたいと思うようになった。そのような思いで取り組んできた今、筆者はいくつかの収穫と課題を得た。

収穫としては、包括支援センターや行政の取り組み・制度について学べたり、専門職や包括、行政の方々の視点に触れたりすることで、その立場を以前より理解できるようになった。また、他事業所の他職種の方々と交流が図れて親睦が深まった。一方で、助言者としてまだまだ足りない部分も多い。様々な疾患や障害についての幅広い知識が求められる中、限られた時間内に的確で分かりやすく伝える工夫や技術は今後も研鑽していかなければならない。

協会全体でいえば、助言者不足というのもまた課題に挙げられる。現在、福津市の作業療法士の助言者は2人だが、一人にかかるプレッシャーは結構な負担となっている。作業療法士が安定的に地域の期待に応えていくためにもセラピストの出務人員確保が求められる。

地域が分からないという病院勤めの方や経験年数の浅い方は、地域ケア会議への参加にきっと勇気がいることと思うが、多くの学びが得られる貴重な機会となるはずである。

是非、勉強会や実際の地域ケア会議に足を運んで頂きたい。

おわりに

今回、地域包括支援システムと地域ケア会議、福津市の取り組みなどについてお示しした。助言にあたっては実効性のあるものでなければならないが、ケースの検討だけをしては自分を見失う恐れがある。その積み重ねがその先の地域づくりに関わっていることを念頭に臨む必要がある。この報告が、会員の方々の参考の一助となれば幸いである。

(参考文献)

- 1) 一般社団法人 長寿社会開発センター：地域包括支援センター運営マニュアル[地域の力を引き出す地域包括ケアの推進をめざして], 2015.
- 2) 一般社団法人 長寿社会開発センター：地域ケア会議運営ハンドブック, 2016.
- 3) 福津市：福津市自立支援型地域ケア会議マニュアル, 2017.
- 4) 厚生労働省HP：地域包括ケアの実現に向けた地域ケア会議実践事例集～地域の特色を生かした実践のために～, 2014. 3.

(www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo/.)

平成29年度 第5回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

- I. 開催日 : 平成29年12月4日(月) 19時00分～22時00分
II. 場所 : らそうむりハビリスポーツガーデン
III. 理事総数 : 20名
IV. 出席理事数 : 18名
V. 出席者氏名 : 志井田太一, 竹中祐二, 濱本孝弘, 中川昇, 深町晃次, 青山克実, 深井伸吾, 手島智康, 許山勝弘, 永田敬生, 大田登志樹, 轟木健市, 有久勝彦, 黒木勝仁, 平岡敏幸, 佐藤稔, 田中真純, 玉野和男, (以上, 理事).
吉田秀樹, (以上, 監事).
鐘ヶ江秀俊, 田邊慎一, 藤崎実知子 (以上, 事務局)
欠席者氏名 : 福田裕樹, 沖雄二, (以上, 理事) (敬称略)
原口健三, (以上, 監事)

VI. 審議事項

1. 平成30年度 任期満了に伴う役員及び代議員改選について (中川事務局長) →承認
平成30年度 任期満了に伴う役員及び代議員改選について会員データ確定日, 定数, 日程について提案.
2. 平成30年度予算案・事業計画について (中川事務局長) →承認
平成30年度予算案・事業計画について提案.
3. 総合福祉団体定期保険導入について (深町福利部担当理事) →継続検討
会員の福利厚生事業の充実を図るため継続審議となっていた総合福祉団体定期保険の導入についてのアンケートの提案.
4. 謝金規程(別表1)の修正について (手島規約委員会担当理事) →継続検討
謝金規程について修正の提案.
5. 福岡県作業療法協会表彰制度「協会表彰」「功労表彰」受賞者の推薦について (手島規約委員会担当理事) →承認
表彰制度「協会表彰」「功労表彰」受賞者の推薦者について提案.
協会表彰推薦者 榎本孝史氏, 深町晃次氏, 手島智康氏
功労表彰推薦者 室岡真弘氏
6. 現職者共通研修の講師承認について (青山教育部担当理事) →承認
以下の講師依頼について報告.
鐘ヶ江秀俊氏 (ひなた家)
日下部修氏 (福岡医健専門学校)
吉野実氏 (新小倉病院)
許山勝弘氏 (福岡リハビリテーション病院)
中津留正剛氏 (産業医科大学病院)
靱井剛氏 (株式会社Rキューブ)
有久勝彦氏 (国際医療福祉大学 福岡保健医療学部)
永田敬生氏 (福岡医健専門学校)
大丸幸氏 (九州栄養福祉大学)

7. 作業療法啓発イベントの講師承認について（永田事業部担当理事） →承認
以下の講師依頼について報告。
葉山靖明氏（株式会社ケアプラネッツデイサービスけやき通り 代表取締役）
藤野隆氏（NPO法人「学びあい」に所属）
畑間英一氏，他3名（バンド奏者）
8. 特別支援教育対策推進研修会の講師承認について（深井保健福祉部担当理事） →承認
以下の講師依頼について報告。
濱本孝弘氏（医療福祉センター聖ヨゼフ園）
渡邊直美氏
藤川貴子氏（麻生リハビリテーション大学校）
曾根川達司氏（北九州総合療育センター）
鬼塚みゆき氏（北九州総合療育センター西部分所）
武藤美智恵氏（ゆうかり医療福祉センター）
長野清一郎氏（医療福祉センター聖ヨゼフ園）
徳吉悠子氏（医療福祉センター聖ヨゼフ園）
濱田愛氏（新水巻病院）
9. 福祉用具研修会の講師承認について（深井保健福祉部担当理事） →承認
以下の講師依頼について報告。
熊添潤一氏（株式会社ハイライフ福祉事業センター）
町田真一郎氏（アイエック訪問看護ステーション）
10. 福岡ブロック研修会の講師承認について（黒木福岡ブロック担当理事） →承認
以下の講師依頼について報告。
浏雅子氏（九州栄養福祉大学）
中村雅司氏（宇都宮内科医院 理学療法士）
11. 北九州ブロック研修会の講師承認について（玉野北九州ブロック担当理事） →承認
以下の講師依頼について報告。

平賀勇貴氏（福岡リハビリテーション病院）
吉田誠治氏（夢企画）
12. 保険委員会研修会の講師承認について（志井田代表理事） →承認
保険委員会担当理事代行にて志井田太一代表理事より，以下の講師依頼について報告。
鎌田聡史氏（あおぞらの里古賀訪問看護ステーション）
伊賀信也氏（柳川リハビリテーション学院）
福田裕樹氏（保険委員会担当理事）
13. 正会員の入会について（中川事務局長） →承認
平成29年9月21日から平成29年11月27日までの間に35名の入会があった。
14. 平成29年度定期社員総会の開催について（中川事務局長） →承認
以下のように提案。
日時 ： 平成30年2月18日（日）16：00
場所 ： 福岡県立大学3号館3109教室
内容 ： 平成30年度予算・事業計画

VII. 協議事項

15. 第22回福岡県作業療法学会 広報用ポスター，チラシについて（有久学術部担当理事）
→承認
第22回福岡県作業療法学会広報用ポスター，チラシについて提案.
16. 県協会研修会開催時における託児について（中川事務局長） →継続検討
研修会における託児の利用状況についての確認と今後の対応について提案.
17. 福岡県作業療法協会の組織について（志井田代表理事） →継続検討
福岡県作業療法協会の組織の今後に向けての提案.
18. 生涯教育制度関連の手続き用の協会印の追加作成について（青山教育部担当理事） →承認
生涯教育制度関連の手続き用の協会印の追加作成について提案.
19. ジャーナル「作業療法・福岡」 印刷業者選定について（有久学術部担当理事） →承認
ジャーナル「作業療法・福岡」 印刷業者選定について中澤印刷と石川特殊特急製本に見積もり依頼したことの報告. 中澤印刷に依頼する.

VIII. 報告事項（特記報告のみ記載. 他，資料参照とする）

20. 代表理事行動について（志井田代表理事）
平成29年10月～平成29年11月の代表理事行動について報告.
21. 県協会宛て依頼案件について（志井田代表理事）
平成29年10月1日から平成29年11月30日までの間に県協会宛てに6件の依頼（研修会案内依頼3件，共催・講演依頼2件，その他依頼1件）があった.
22. 中間監査報告について（吉田監事）
中間監査について若干の指摘事項があるが適正に運営されている.

IX. 次回開催日

平成29年度 第6回理事会
日時： 平成30年2月5日（月）19：00～
場所： らそうむリハビリスポーツガーデン

平成29年度 公益社団法人福岡県作業療法協会 定期社員総会議事録

I. 開 催 日 : 平成30年2月18日 (日)

II. 時 間 : 16時00分～17時00分

III. 場 所 : 福岡県立大学3号館 3202教室

IV. 正会員数 : 3,048名 (平成30年1月18日現在)

V. 代議員総数 : 41名

VI. 本総会出席代議員数 : 本人出席 29名 書面評決者 12名

VII. 出席者氏名 : <代議員本人出席>

青山克実, 黒木勝仁, 竹中祐二, 中島純二, 永田敬生, 許山勝弘, 日高健二, 藤田曜生, 町田真一郎, 榎本孝史, 佐藤稔, 志井田太一, 玉野和男, 中川昇, 深町晃次, 松永裕也, 有久勝彦, 澤田剛, 轟木健市, 濱本孝弘, 原野裕司, 深井信吾, 室岡真弘, 大田登志樹, 近重諒, 松尾雅宜, 田中真純, 手島智康, 平岡敏幸

<代議員書面評決者>

苗村俊助, 中尾達也, 久野良浩, 座小田孝安, 田中聡, 中津留正剛, 矢野浩二, 江口智則, 中原徳郎, 福田裕樹, 熊添潤一, 古賀大亮,

<監事>

吉田秀樹

<事務局>

鐘ヶ江秀俊, 田邊慎一, 藤崎実知子

VIII. 議長, 書記選出 :

中川昇氏が開会を宣言し, 定款第23条に基づき出席代議員の中から議長に志井田太一氏が選出された。ついで議長の指名により議事録作成に関わる職務を行う者として中川昇氏, 鐘ヶ江秀俊氏, 藤崎実知子氏が選出された。

IX. 議事の経過の要領及びその結果

議長は, 議事運営委員長の大田登志樹氏より報告をうけ, 上記のとおり定足数に足りる代議員の出席があったので本総会は成立した旨を報告した。

ついで議長は定款第27条の規定により, 議事録署名人に近重諒氏, 中島純二氏を任命した。

議事録署名人 : 中島純二氏 (今宿病院)

近重諒氏 (福岡青洲会病院)

第1号議案 : 平成30年度事業計画

第1号議案, 平成30年度事業計画について志井田太一代表理事より報告があった。議決の結果, 全員異議なく承認された。

第2号議案：平成30年度収支予算

第2号議案，平成30年度収支予算について中川昇氏より報告があった．議決の結果，全員異議なく承認された．

X．議長団解任

X I．閉会の言葉

以上の議事進行をもって総会が終了した．

以上の決議を明確にするために，本議事録を作成し，定款27条により議長及び議事録署名人が次に記名押印する．

平成30年2月18日　公益社団法人福岡県作業療法協会　定期社員総会



【教育部】

1. 研修会報告

1) MTDLP事例検討会

①平成30年1月28日(土)：

飯塚記念病院(筑豊ブロック)

発表者5名、聴講者1名

※福岡東ブロック(開催予定日：平成29年12月17日(日)、福岡青洲会病院)での発表者不在のため、筑豊ブロック日程での合同開催とした。

②平成30年2月11日(日) 発表者4名、聴講者7名

2) MTDLP研修会-実践編-(事例の書き方研修会)

平成30年2月25日(日)：

リファレンスはかた近代ビル貸会議室105号室

参加者9名

3) 現職者共通研修

第2回：平成30年2月17日(土)

場所：福岡県立大学(第22回福岡県作業療法学会と同時に開催)

参加総数：179名

講義テーマ：

作業療法生涯教育概論	参加者59名
職業倫理	参加者55名
作業療法の可能性	参加者39名
事例報告と事例研究	参加者42名
保健・医療・福祉と地域支援	参加者32名
実践のための作業療法研究	参加者38名
作業療法における協業後輩育成	参加者23名
日本と世界の作業療法の動向	参加者27名

4) 九州作業療法士会会長会主催合同研修会(運営協力)

テーマ：災害支援の基礎について

日時：2月11日・12日 場所：緑生館

協会推薦参加者：轟木健市氏(帝京大学)

2. 次年度MTDLP関連研修会予定

1) MTDLP基礎研修(現職者選択研修：必須)

福岡ブロック：平成30年6月24日(福岡赤十字病院)

筑豊ブロック：平成30年7月22日(飯塚記念病院)

福岡東ブロック：平成30年 8月19日(場所未定)

筑後ブロック：平成30年 9月30日(場所未定)

北九州ブロック：平成30年10月14日(場所未定)

※生活行為向上マネジメント基礎研修会について、日本作業療法協会では協会員全ての方の受講を目指すとして平成29年度より生涯教育制度の選択研修(必須項目)となったため、受講料が4,000円となっていました。しかし、福岡県作業療法協会では、多くの方に受講して頂けるよう平成30年度から5年間に限り、受講料を2,000円に減額する事となりました。

2) MTDLP事例発表会

福岡ブロック：平成30年10月21日(場所未定)

筑豊ブロック：平成30年11月18日(場所未定)

福岡東ブロック：平成30年12月16日(場所未定)

筑後ブロック：平成31年 1月20日(場所未定)

北九州ブロック：平成31年 2月17日(場所未定)

3) MTDLP書き方研修会

福岡ブロック：平成30年 5月20日(場所未定)

筑豊ブロック：平成30年 9月 2日(場所未定)

※未定の研修会場に関しては、随時決まり次第ホームページ上のスケジュール表に更新させていただきます。

3. その他

現職者選択研修の開催予定(福岡開催分)

平成30年度：老年期領域、平成31年度：精神障害

【保健福祉部】

1. 報告事項

1) 活動報告

(1) 29年度第8回高齢者支援ブロック実務者会議(筑後)

①日時：平成30年1月17日(水)

②場所：聖マリア病院

③出席者：濱本孝弘、原野裕司、永田博明、長野久雄、桑島俊明、石橋慎也、小山大作、田中孝子、川添由加利、田中重徳、高山和規、福島篤、木村伸一郎、深井伸吾

④内容：自立支援ケア会議の活動報告、活動予定について

(2) 29年度第9回高齢者支援ブロック実務者会議(筑後)

①日時：平成30年2月14日(水)

②場所：いきいき安武デイサービスセンター研修室

③出席者：原野裕司、長野久雄、桑島俊明、石橋慎也、田中孝子、川添由加利、田中重徳、高山和規、福島篤、長彰純、木村伸一郎、深井伸吾

④内容：自立支援ケア会議の活動報告、活動予定について

(3) 29年度第10回高齢者支援ブロック実務者会議(筑後)

①日時：平成30年3月7日(水)

②場所：いきいき安武デイサービスセンター研修室

③出席者：濱本孝弘、長野久雄、桑島俊明、石橋慎也、田中孝子、川添由加利、田中重徳、高山和規、福島篤、長彰純、小山大作、木村伸一郎、

④内容：自立支援ケア会議の活動報告、活動予定について

(4) 29年度第5回特別支援教育対策企画会議

①日時：平成30年12月10日(日)

②場所：麻生リハビリテーション大学校

③出席者：濱本孝弘、曾根川達司、渡邊直美、

藤川貴子, 鬼塚みゆき, 武藤美智恵,
濱田愛, 徳吉悠子, 長野清一郎

- ④内容 : 第4回特別支援教育に携わるOT研修
会 (情報交換会)
- (5) 29年度第2回福祉用具対策委員会
- ①日時 : 平成29年12月9日 (土)
- ②場所 : TKP博多駅筑紫ロビジネスセンター
- ③出席者 : 長尾哲男, 渡邊愼一, 平岡敏幸,
上田元紀, 熊添潤一, 大内陽子,
瀧美奈子, 梅崎園美, 櫻木美穂子
- ④内容 : 2017年度生活行為工夫情報モデル
事業
- (6) 29年度 第3回 福祉用具対策委員会
- ①日時 : 平成30年2月10日 (土)
- ②場所 : リファレンス駅東ビル
- ③出席者 : 36名
- ④内容 : 40分で評価する福祉用具と住宅改修
退院前訪問のノウハウ～自立支援と
介護負担軽減のために～
- ⑤講師 : 熊添潤一
(株式会社ハイレブ福祉事業センター)
町田真一郎
(アイエック訪問看護ステーション)
- (7) 29年度第6回地域包括ケアシステム推進会議
- ①日時 : 平成30年2月7日 (火)
- ②場所 : 福岡医健専門学校
- ③出席者 : 志井田太一, 濱本孝弘, 黒木勝仁,
田中聡, 黒田隆之, 佐野功一,
長野久雄, 平岡敏幸, 轟木健市,
永田敬生, 深井伸吾
- ④内容 : 地域包括ケアシステム推進, 総合事
業について
- (8) 29年度第7回地域包括ケアシステム推進会議
- ①日時 : 平成30年3月20日 (火)
- ②場所 : 福岡医健専門学校
- ③出席者 : 志井田太一, 濱本孝弘, 黒木勝仁,
田中聡, 黒田隆之, 佐野功一,
長野久雄, 平岡敏幸, 轟木健市,
永田敬生, 深井伸吾
- ④内容 : 地域包括ケアシステム推進, 総合事
業について
- (9) 29年度第1回粕屋町子育て応援サロン企画会議
- ①日時 : 平成30年2月27日 (火)
- ②場所 : 医療福祉センター聖ヨゼフ園
- ③出席者 : 藤川貴子, 荒金幸, 武藤美智恵,
長野清一郎
- ④内容 : 子育てサロンの反省と次年度企画
について

【学術部】

第22回福岡県作業療法学会 参加者等報告
期日 : 平成30年2月17日 (土)・18日 (日)
主題 : 無限大∞ ～作業療法のちから～
会場 : 公立大学法人 福岡県立大学

参加者数 :

延べ参加者数402名 (1日目248名・2日目154名)

実参加者数302名 (学生8名・他職種2名)

各セッション別参加者数 :

開会式109名

基調講演155名

1日目 : セミナー1 (老年期分野) 90名

セミナー2 (身障分野) 79名

セミナー3 (発達分野) 31名

口述発表A 46名, 口述発表B 30名

ポスター発表I 43名

イベント (ソフトバンク) 24名

イベント (パナソニック・明治) 46名

ブース (福岡県OT協会, JRAT, JAOTS)

20名

ナイトセミナー 49名

2日目 : 口述発表C 42名, 口述発表D 35名

口述発表E 48名, 口述発表F 46名

口述発表G 33名, 口述発表H 30名

ポスター発表J 31名

市民公開講座 108名 (一般54名)

※筑豊ブロックでの第22回福岡県作業療法学会は盛況の内に無事に終了を迎えました。筑豊ブロックの学会準備委員会の皆さま, 1年間本当にありがとうございました。次年度の県学会は第1回九州作業療法学会が開催されるため, 開催いたしません。会員の皆さまにおかれましてはご了承のほどお願い致します。次年度は第1回九州作業療法学会への参加を是非お願い致します。

【筑豊ブロック】

<公1>

I. 事業企画会議

第6回 筑豊ブロック事業企画会議

日 時 : 平成30年2月26日月曜日

会 場 : 飯塚記念病院 参加者 : 17名

内 容 : 次年度役割について, 他

II. 研修会報告

第2回事例報告検討会

日 時 : 平成30年1月17日水曜日

会 場 : 飯塚記念病院 グランドホール

発表者 : 3名, 聴講者 (現職者該当) : 1名,

聴講者 (現職者非該当) : 2名

第3回事例報告検討会

日 時 : 平成30年1月19日金曜日

会 場 : 飯塚記念病院 グランドホール

発表者 : 3名, 聴講者 (現職者該当) : 2名,

聴講者 (現職者非該当) : 4名

第4回MTDLP事例検討会

日 時 : 平成30年1月28日 (日)

会 場 : 飯塚記念病院

講 師 : 都甲幹太先生 (あやめの里)

発表者 : 5名

第6回 筑豊ブロック研修会

日 時：平成30年2月22日木曜日

会 場：飯塚記念病院

テーマ：地域における小児分野で活躍する作業療法

講 師：中島千鶴子 先生

(行橋在住、作業療法士)

参加者：33名

<公2>

I. 広報誌 第23号 平成30年1月15日発行
【今後の予定】

<公1>

I. 事業企画会議

第1回 筑豊ブロック事業企画会議

日 時：平成30年4月17日火曜日

会 場：飯塚記念病院

<公2>

I. 広報誌 筑豊OT TIMES 第24号 平成30年4月15日発行予定

【北九州ブロック】

1. 活動報告

<北九州ブロック>

ブロック企画会議開催

平成30年1月15日(月) 19:00～

(公社)福岡県作業療法協会事務所

平成30年3月5日(月) 19:00～

(公社)福岡県作業療法協会事務所

北九州ブロック事例検討会

日 時：平成30年1月18日(木) 19:00～

会 場：産業医科大学

ファシリテーター：井手琢磨氏(おかがき病院)

中村陽平氏(新小文字病院)

須崎優介氏(東筑病院)

参加者：50名(発表19名、聴講10名、
聴講済21名)

第2回北九州ブロック全体研修会

日 時：平成30年1月28日(日) 9:00～12:30

会 場：北九州リハビリテーション学院

テーマ：痛みに対する作業療法

自分らしく住むためのバリアフリー

講 師：平賀勇貴氏

(福岡リハビリテーション病院)

吉田誠治氏(夢企画)

参加者：33名

戸畑区リハビリテーションフェア

日 時：平成30年3月11日(日) 10:00～14:30

会 場：ウェル戸畑

参加者：1名

<小倉北・門司エリア>

エリア事業企画会議開催

平成30年3月13日(火) 19:00～

新小文字病院 すみれ寮7階会議室

<小倉南・京築エリア>

エリア事業企画会議開催

平成30年2月8日(木) 19:00～

コミュニティースペース百屋

<八幡西・遠賀・中間エリア>

エリア事業企画会議開催

平成29年12月5日(火) 19:00～新王子病院

平成30年2月19日(月) 19:00～福岡新水巻病院

<八幡東・戸畑・若松エリア>

エリア事業企画会議開催

平成30年3月6日(火) 18:30～ あやめの里

<広報部>

企画会議開催

平成29年12月6日(水) 19:00～ 和菜屋

【福岡ブロック】

事業企画会議開催

平成30年2月14日(水) 都久志会館 602会議室

参加者：16名

広報部

1) 「Joy Style冬号」平成30年3月20日発行

2) Facebook：随時更新中

3) 広報誌取材会議

平成30年1月18日(木) 早良病院

参加：4名

平成30年3月10日(土) アトリエFUJINO

(福津市) 参加：3名

教育学術部

1) 平成29年度 第5回 福岡ブロック研修会

テーマ：「生活と高次脳機能障がい」

講 師： 湊 雅子先生 (作業療法士)

所 属： 九州栄養福祉大学 教授

日 時： 平成30年1月14日(日)

10:00～16:00

会 場： 福岡赤十字病院 椎木記念ホール
(福岡市南区)

参加者： 62名 (作業療法士)

2) 教育学術部・福岡ブロック事務局平成29年度
末会議

平成30年3月8日(木) リファレンス天神

505会議室 参加：6名

エリア部

1) 平成29年度福岡ブロック主催第2回事例報告会
及び事例検討会

日時： 平成30年2月7日(水)

18:30～20:30

会場： 九州大学病院リハビリテーション
部 研修室

参加者： 発表者10名

聴講者20名(作業療法士)

2) 平成29年度福岡ブロック南部地区筑紫広域エ
リア研修会

テーマ：「生活期における呼吸リハビリテー

ションのポイント」

講 師： 中村雅司先生（理学療法士）
所 属： 宇都宮内科医院
日 時： 平成30年2月16日（金）
18：30～20：00
会 場： 樋口病院（春日市）
参加者： 38名（うち他職種30名）

【筑後ブロック】

【活動報告】

〈公1〉

事業企画会議

- 1) 第6回 筑後ブロック事業企画会議
日 程：平成29年3月5日（月）19:00～
場 所：筑後商工会議所
出 席：10名
- 2) 第5回 八女・筑後地区（B地区）企画会議
日 程：平成30年2月28日 18:30～19：30
場 所：特別養護老人ホーム 木もれ日苑
出 席：3名
- 3) 第5回 有明地区（C地区）企画会議
日 程：平成30年1月15日18：00～19：30
場 所：デイサービス ライズ
出 席：5名
- 4) 第5回 朝倉地区（D地区）企画会議
日 程：平成30年1月20日19：00～21：00
場 所：本間病院 デイケアセンター
出 席：7名

- 5) 第8回 広報部企画会議
日 時：平成30年3月12日
場 所：医療法人松岡会松岡病院
出 席：4名

2. 事例検討報告会

- ①第3回：平成30年1月18日（木）
場 所：えーるぴあ久留米
- ②第4回：平成30年2月9日（金）
場 所：介護老人保健施設アルファ俊聖
〈公2〉

1. 広報活動

- 1) Facebookでの広報活動
- 2) 第22回福岡県作業療法学会取材

【今後の活動予定】

〈公1〉

1. 事業企画会議

- 1) 平成30年度第1回 筑後ブロック事業企画会議
日 程：平成30年4月16日19:00～
場 所：筑後商工会議所



平成30年1月28日（日）にイオンモール八幡東店にて作業療法啓発イベントとして、作業療法フェスタ（こころとからだの健康フェスタ）を開催いたしました。作業療法フェスタは一般の方を対象に市民公開講座や健康相談、作業体験や模擬障害体験などを通して、作業療法を身近に感じていただく機会を提供しています。

公益社団法人福岡県作業療法協会では、作業療法（リハビリテーション：全人権的復権）の普及発展を図り、県民の健康増進・生活機能の向上に寄与することを目的として、高齢者や障害者にも優しい街づくりなど、誰もがその人らしく生き生きとした生活を送れる社会を目指しております。

そこで、福岡県作業療法協会事業部では広報部と協力して、社会貢献と啓発の目的で「作業療法フェスタ」を企画・実施しております。

2016年度は元パラリンピック水泳日本代表・義手のバイオリニスト伊藤真波さんに、義手によるバイオリン演奏「あきらめない心が伝わるメロディ」と講演「義手（失った片腕）が与えてくれたもの」をしていただき、その中で作業療法の体験をお話いただきました。

2017年度は片麻痺当事者である葉山靖明さんと藤野隆さんにトークショー「旅はリハビリ！ ハンデがあってもアメリカ大陸横断 & オランダ紀行」の中で、作業療法の魅力を一般の方々にも分かりやすくお伝えいただきました。その他にも、健康チェックブースでの相談やくつろぎカフェコーナーでは就労支援施設の方々と作業療法士が協働でカフェを運営し、作業体験コーナーでは作業を通して作業療法の紹介などを行いました。また、作業療法士が勤める近隣施設を紹介したリハビリマップを掲示し、より身近に感じていただける工夫も行いました。

……………☆参加してくださった方々からのご意見（アンケートより）☆……………

「病気になっても、リハビリをして旅行やしたい事を作業療法士さんの援助などでできるようになるので、諦めなくてもいいと感じました。」

「今日をきっかけに、作業療法士について子供が関心を持てたらと期待しています。」

……………
この様な機会を通して、「老い」「病」「障害」があっても、趣味や旅行を楽しみ、輝いている人がいることを知っていただき、「だれでもいきいきとした社会参加ができる」その傍らに作業療法士という存在があることに気づく一助になれることを期待します。

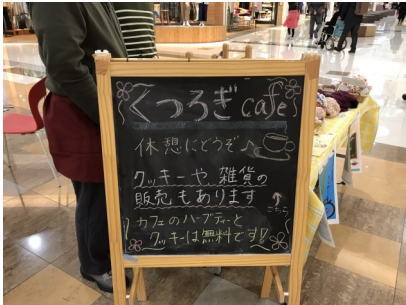
最後に…

このイベントの趣旨をご理解いただき会場をご提供していただきましたイオンモール八幡東店様やカフェブースの運営をお手伝いいただいた「わくわーく」の皆さま、最新福祉機器体験コーナーを担当くださった「株式会社アステム」様、一般市民の方々に親切丁寧に接してくれた福岡県作業療法協会員の皆さまに、この場をお借りしてお礼申し上げます。

～ご協力いただいた福岡県作業療法協会協会員の所属施設（敬称略）～

太宰府病院、可也病院、早良病院、博愛会病院、大森整形外科医院、岡部病院、貝塚病院、福西会南病院、訪問看護ステーションアトラス福岡、福岡リハビリテーション病院、誠愛リハビリテーション病院、渡辺整形外科病院、柳川リハビリテーション学院、松恒園 通所リハビリテーション、芳野病院、戸畑リハビリテーション病院、戸畑けんわ病院、北九州八幡東病院、株式会社 シダー

福岡県作業療法協会事業部では、今後も社会貢献と作業療法啓発の目的で「作業療法フェスタ」を開催する予定です。誰もがその人らしく生き生きとした生活を送れる社会を目指して参ります。今後とも、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



*事業部・広報部の啓発活動にご興味のある方がいらっしゃいましたらお気軽にお問い合わせください。

所属施設：福岡医健専門学校

TEL:092-262-7664 Email : a_nagata1976@iken.ac.jp

公益社団法人福岡県作業療法協会 協会表彰・功労表彰

公益社団法人福岡県作業療法協会表彰規程（以下、参照）に基づいて協会表彰3名，功労表彰1名が選出され，第22回福岡県作業療法学会において表彰されました。4名の表彰者のコメントを紹介致します。

①協会表彰

通年25年以上，定款第6条に基づく正会員として作業療法業務に携わり，本会の発展に顕著な功績を示し，定款第12条に基づく役員，定款第6条に基づく代議員（社員），各部員と委員，福岡県作業療法協会会長及び福岡県作業療法協会に運営委員として携わった者として，協会活動経験を合わせて20年以上有する者を表彰する。

②功労表彰

通年25年以上，定款第6条に基づく正会員として作業療法業務に携わり，作業療法の発展，職能向上に功労があり，他の会員の模範となる者で，将来も継続してその業務を遂行し得る者を表彰する。

今回「協会表彰」をいただきましたことに対し，関係各位に感謝申し上げます。思えば平成6年に教育部に参加させていただいた時から，県協会活動に関わるようになりました。当時の教育部担当理事であられた志井田太一先生（現会長）と故吉田隆幸先生からの伝授に始まり，その他多数の県協会会員の方々との繋がりが，今の私の糧であり財産になっています。平成24年から県協会理事を拝命しましたが，改めて今から未来へと続く県協会の足跡に微力ながら貢献していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

学校法人国際学園 九州医療スポーツ専門学校
手島 智康



この度は協会表彰をいただき，誠にありがとうございました。

今年度に入り，規約委員会の手島智康理事より協会表彰に関するお声掛けをいただきました。振り返ると平成9年に前理事の小川敬之先生より福利部のバトンを託していただき，会報での会員異動報告や「医療人としてのコミュニケーション・マナーに関する研修会」の開催，福利厚生事業等を部員の先生方とともに進めてまいりました。

今や会員数約三千人という日本一の県士会の中で，会員の皆様がより良いお仕事を末永く続けていけるよう，部員の方々と知恵を絞り，働かせていただく所存です。今後とも，よろしくお願いいたします。

九州栄養福祉大学
深町 晃次



この度、公益社団法人福岡県作業療法協会より、協会表彰の機会を頂き、心から感謝申し上げます。昭和63年に、精神科OTとして、精神科病院の開放化と地域医療の実践を目標に、精神科病院の門を叩きました。当時、福岡県には、大丸幸先生、石谷直子先生、池松洋子先生など、精神科OTのパイオニアが身近に居て、諸先生方にしがみつki、多くの事を学び、吸収する機会がありました。それから30年が経過して、今は自分自身が臨床の場面で、精神科領域の地域包括ケアの道筋を築き、少しでも精神科OTの職域拡大に貢献していきたいと思っています。

モナトリエ訪問看護ステーション
榎本 孝史



今回このような名誉ある賞を頂き誠にありがとうございます。作業療法士となった当初5年間は、作業療法士の仕事に悩んでいた時期もありました。そのような中、地域リハビリテーションのフィールドに関わることで作業療法士の役割が自分なりに明確となり自信が持てるようになりました。気が付けば30年経過しているような状況でした。ただ作業療法士として経験を積んだだけで特別に誇れるような実績もない私です。このお話を頂いたときに正直戸惑いがありました。私よりふさわしい諸先輩方々がいるのにと今でもそう思っています。今年の1月より施設管理者となりましたが、対象者の自律した生活が送れるようOTとしても関わり邁進してまいります。今まで支えていただいた皆様に、又県協会関係の皆様へ改めて感謝申し上げたいと存じます。本当にありがとうございました。

特別養護老人ホーム 木もれ日苑
室岡 真弘



記念品

私が働く高良台リハビリテーション病院は、全100床の回復期リハビリテーション病院です。当院では、日常生活に不安のある患者さんが家庭復帰を目指すために、多職種が連携しリハビリテーション医療を提供しています。

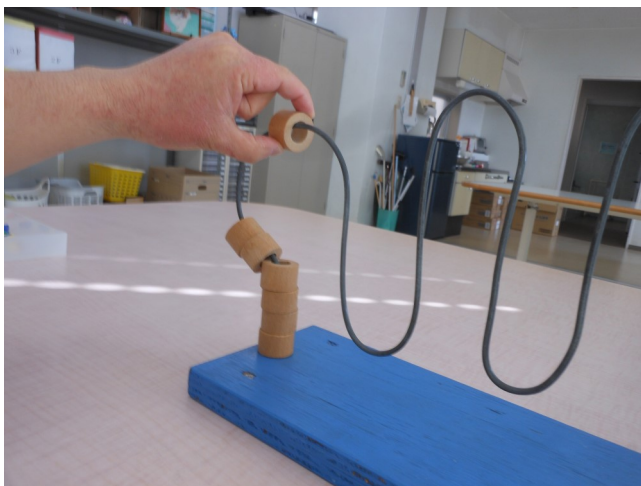
素直・謙虚・感謝。これは、社会人になり大切であると感じたもので、今も仕事をする上で意識しているものです。

作業療法士として働く以前は、広島で2歳の未就学児から小学校6年生までを対象にマット運動や鉄棒、縄跳び等を用いて体操の指導を行う仕事をしていました。対象者が子供であった事もあり、上司にはあることを言われてきました。見本になるような人でなければならない、「ありがとう」や「ごめんなさい」が素直に言えて何事にも驕らない人は、尊敬に値する人である。仕事をする中で、子ども達から学んだ事もあります。それは、挑戦する大切さです。体操を行う中で、中々上手くできず失敗を重ね、何度も挑戦する姿を見てきました。出来た時の子ども達の笑顔は今でも忘れません。私は、挑戦する大切さを教えてくれた子ども達に感謝し、興味があった作業療法士への挑戦を決意しました。広島を去る際には、お世話になった先生方や保護者の方、園児達から様々なエールを送って頂きました。嘘のような話かもしれませんが、その中で一番心に響いた言葉があります。「山下先生は、世界に一人。うちの子供にとっては世界一の・・・いや世界に唯一のスペシャルな先生やったよ。そんな先生ならたくさんの人を笑顔にできるはずよ」と言って頂きました。「人の心を動かすのは、人」だと思いました。

作業療法士になって受け持った患者さんの一人にリハビリに対し消極的な方がいました。手芸や折り紙などの作業活動を通して関係作りを大切にしました。発信する訴えを丁寧に受け止めながら関わる中で、表情やリハビリに対する意欲が変化し、生活動作能力の改善に繋がった方を経験しました。作業療法士としての経験年数も浅く、一人一人生活背景が異なる中で、個別療法や福祉用具の選定、住宅改修など、日々課題を感じる毎日ですが、希望に沿った支援に繋がった時には、仕事にとってもやりがいを感じています。

「心が動けば身体が動く」本当にその通りだなと感じており、作業療法士になってよかったと思う日々繋がっています。

これからも、作業療法を提供する一人として、素直・謙虚・感謝を心に留め、臨床経験を通じて日々学び、自己研鑽してきたいと考えています。「心を動かせる」作業療法士を目指して頑張ります。



特定医療法人東筑会 東筑病院 太田 裕司

みなさま、はじめまして。東筑病院の太田裕司と申します。私は、作業療法士となり東筑病院に勤めて5年が経ちました。東筑病院は199床の内科の病院で、回復期病棟30床、地域包括病棟50床、一般病棟49床、療養型病棟50床、障害者病棟30床です。病院は建物の老朽化が進んでいます。新病院の建て替えが5年前に決まり工事の様子をリハビリ室から楽しみに眺めていました。2018年3月20日より新病院での診療がスタートとなり、新病院開設に向けての準備で大忙しです。

私が勤務するリハビリテーション科は、OT17名、PT24名、ST4名が在籍し、入院診療、外来診療、訪問リハビリ、介護保険分野のそれぞれのリハビリテーションを提供しています。私は入院診療に在籍しています。疾患は呼吸器、心臓、癌を担当することが多く、対象者の多くは80歳から70歳代です。高齢者が多いため、特に認知症分野への知識の未熟さを感じております。

私のことを少し話します。休日は釣りを楽しんでいます。一言に釣りと言っても、魚種の違い、餌釣り・ルアー釣り、川・海・湖・山などフィールドも様々です。最近は、興味のあった溪流釣りにチャレンジしています。山の中を流れるきれいな水、マイナスイオンたっぷりの空気、四季折々の景色を全身で感じながら川を遡行していきます。溪流釣りの師匠がいないため試行錯誤しながら山に籠っています。私の大切にしていることは、仕事もプライベートも楽しんでチャレンジすることと考えています。チャレンジしたいこと興味のあることなど、わからないことはすぐに調べて知識を増やす。これを生活の中で楽しんでできたらなと日頃から考えています。なにか作業をする上でより楽しみながらできる。そんな作業療法を提供できるように切磋琢磨してまいります。



J R九州病院

【募集職種】 作業療法士

【募集人員】 1名

【雇用形態】 正社員

(有期契約社員(日給8,480円)として一定期間雇用後、正職員登用試験を実施します。)

【給 与】 187,300円以上
(経験年数による加算あり)

【賞 与】 あり(6月及び12月)

【勤務時間】 8:30～17:25

【休 日】 土日祝日(年間110日)

【福利厚生】

厚生年金保険、健康保険、雇用保険、労災保険
財産形成制度、見舞金制度、被服の貸与、住宅援助金制度、寮・社宅、各種レジャー施設 ほか

【そ の 他】

扶養手当、通勤手当、時間外勤務手当等あり

【備 考】

急性期から地域包括ケア、療養まで幅広い経験を積むことができます。

【連 絡 先】

J R九州病院 総務課 採用担当

TEL: 093-381-5661

詳しくはwww.jrkyushu.co.jp/hospitalをご参照ください。

株式会社シダー

あおぞらの里 古賀訪問看護ステーション

【募集職種】 作業療法士・理学療法士

【募集人員】 1名

【雇用形態】 正社員

【給 与】 基本給(月額平均)158,020～247,630円
資格手当40,000円
加給手当13,000～19,000円
その他、住宅手当・扶養手当あり

【賞 与】 前年度実績 年2回 計3.2ヶ月分

【勤務時間】 雇用期間の定めなし

【休 日】 年間112日当社勤務表による(4週8休)

【福利厚生】 各種保険加入あり
財形退職金制度あり(勤続3年以上)

【そ の 他】 交通費:実費支給(上限24,000円)
就業時間8:30～17:00休憩時間60分

【備 考】 あおぞらの里 下関訪問看護ステーションにて作業療法士・理学療法士の非常勤も募集中です。

【連 絡 先】

あおぞらの里 古賀訪問看護ステーション

福岡県古賀市今の庄2丁目2-28

TEL: 092-940-2135 FAX: 092-940-2260

担当者: 鎌田・渡邊

あおぞらの里 下関訪問看護ステーション

山口県下関市今浦町8-25

TEL: 083-228-3833 FAX: 083-228-3988

担当者: 島本・永汐

特別養護老人ホーム マザーハート

【募集職種】 機能訓練指導員(作業療法士)

【募集人員】 1名

【雇用形態】 正社員

【給 与】 212,700円～230,300円

【賞 与】 年2回(3～4ヶ月分)

【勤務時間】 9:00～18:00

【休 日】 週休2日制(年間108日)

【福利厚生】 雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金保険加入。退職金制度あり(勤続3年以上)定年制あり一律65歳(再雇用70歳迄)

【そ の 他】 通勤手当(交通機関利用者上限20,000円)(自動車2,500円～7,000円)住宅手当(賃料に基づき12,000円～25,000円)扶養手当(配偶者15,000円)(満22歳の子供10,000円,5,000円,2,000円)昇給(人事考課規程に基づく満60歳迄)1,000円

【備 考】 平成31年3月1日新規開設予定の施設です。※オープニングスタッフの募集です。入職時期は平成31年1月1日を予定しています。(試用期間は3か月)施設概要、使用期間など

【連 絡 先】

事業所住所 福岡市博多区東光2丁目8-23

法人住所 福岡市南区大楠2丁目17-29

TEL 092-521-7710 FAX 092-562-3008

担当者 統括部長 井上 俊孝

施設長 北島 誠治



会員動向調査

調査期間 (2017. 12. 5～2018. 3. 5)

福岡県作業療法協会 会員数3,039名(正会員2,726名 自宅会員313名)

<入会>

仲尾 国明	戸畑けんわ病院	: 2017年7月
小川 僚	浅木病院	: 2017年12月
家永 花渚	小倉リハビリテーション病院	: 2017年12月
濱村 仁美	介護老人保健施設 からぎステーション	: 2017年11月
佐久間 亮	シーサイド病院	: 2017年12月
古市 光	香椎原病院	: 2017年12月
森 淳	乙金病院	: 2017年12月
銚之原 将希	桜十字福岡病院	: 2017年12月
石田 恭涼	桜十字福岡病院	: 2017年12月
森口 怜奈	桜十字福岡病院	: 2018年 1月
野口 愛実	ながら医院	: 2018年 1月
安藤 佑輔	飯塚市立病院	: 2017年11月
魚住 太郎	やすなが訪問看護ステーション	: 2017年12月
濱道 麻衣	介護老人保健施設 ラ・パス	: 2017年11月
柳瀬 篤徳	丸山病院	: 2017年12月
古川 祐平	嶋田病院	: 2017年12月

<県内移動>

井上 健太	介護老人保健施設 さくら苑	: 2017年 4月
(さくら整形外科リハビリテーション医院より)		
小川 佳代	自宅	: 2018年1月
(訪問看護ステーション ゆうあい より)		
安達 利枝	介護老人保健施設 桜丘	: 2018年 1月
(ふじの木園デイサービスセンターより)		
緒方 いづみ	別府病院	: 2017年 9月
(福岡徳洲会病院より)		
大平 英史	空とみち心療クリニック	: 2017年10月
(水戸メンタルクリニックより)		
高木 雄作	自宅	: 2018年 1月
(博愛会病院より)		
柴原 章	武田病院	: 2017年12月
(福岡新水巻病院より)		
薦田 剛敬	(株) らそうむ本店	: 2017年12月
((株) らそうむより)		
辻 香名	有明クリニック おおかわ交流プラザ通所リハビリテーションセンター	: 2017年 5月
(高木病院より)		

<退会者>

新開 日香里	: 2017年11月
久保 瑠美	: 2017年11月
大保 明子	: 2017年11月

小林 佳広	: 2017年12月
今久留主 真	: 2017年12月
島尾 千代美	: 2017年12月
簗川 マミ	: 2017年12月
諫山 奏帆	: 2017年12月
野村 恭子	: 2017年12月
宮崎 雅子	: 2017年12月
中野 宏治	: 2017年12月
入江 萌恵	: 2017年12月
荒木 麗果	: 2018年 1月
古賀 将記	: 2018年 1月

会員の皆様へ

これまで、会員の皆様の異動状況を会報にて報告してまいりましたが、「事務所へ報告はするが、会報への掲載は望まない」という要望もごさいます。

異動等の報告の際、会報への掲載を希望されない場合は所定の用紙(異動届等)にその旨ご記入ください。

異動の際の手続きについて

職場・自宅等の変更のあった方は、必ず文書で県協会事務局へご連絡下さい。

協会ホームページ(<http://www.fuku-ot.org/>)へアクセスし、入会・異動・退会の項から届出用紙をダウンロードして下さい。

用紙に異動前・後の施設名、郵便番号、住所、電話番号を明記して下さい。自宅住所の変更もお忘れなくお願いします。

ご不明な点は、福岡県作業療法協会事務所までお問い合わせ下さい。

TEL 093-952-7587

編集後記

今月号の特集はコールメディカルクリニック福岡の坂口聡子さんに「福津市における自立支援型地域ケア会議の取り組みについて」という題目で執筆していただきました。福岡県の各地で地域ケア会議が徐々に始まっています。大分県ではすべての地区で作業療法士が参加した地域ケア会議が行われているそうです。「生活の視点」をもつ作業療法士こそ地域で必要とされる存在です。病院で働く作業療法士も退院後の生活を意識した関わりが必要です。病院も地域の中にあるのですから、今年は地域ケア会議をテーマに特集を連載でお送りします。会報やホームページについてのご意見も随時お待ちしております。今年度もよろしく願います。(許山)